

平成 2 2 年度 教育に関する事務の管理及び

執行状況の点検・評価に関する報告書

(平成 2 1 年度事業対象)



平成 2 3 年 2 月

鴻 巣 市 教 育 委 員 会

目 次

. はじめに	1
. 点検・評価の基本方針	1
. 「第5次鴻巣市総合振興計画」の政策3「心ゆたかでときめきのあるまちづくり(教育・文化の振興)」における施策と指標の関係	1～
. 5 施策の点検・評価の結果	
施策1：学校教育の充実	4
施策2：生涯学習の充実	6
施策3：スポーツの振興	8
施策4：市民文化の創造と交流の促進	10
施策5：人権尊重の推進	11
. 結びに	12

はじめに

この報告書は、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 27 条の規定に基づき、鴻巣市教育委員会がその権限に属する事務の管理及び執行の状況について、自ら点検及び評価を行った結果についてまとめたものです。

点検・評価の基本方針

1 目的

平成 19 年の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、教育委員会は、その権限に属する事務の管理及び執行の状況を自ら点検・評価を行い、その結果を議会に提出するとともに広く市民に公表することになりました。

これは、効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的としています。

2 点検・評価の対象及び方法

本市の教育行政の主要施策については市政運営の基本となる「第 5 次鴻巣市総合振興計画」に掲げられています。総合振興計画は合併後の市内の均衡ある発展と速やかな一体性の確立を図るため策定され、7つの政策、33の施策、112の基本事業からなり、それぞれ具体的な成果指標を設定し、評価・見直し・公表を行っていくという行政評価の手法を取り入れています。

従って、この振興計画に掲げられている教育委員会の施策を対象とし、その指標の達成状況の把握を参考にしながら、平成 21 年度の取組みについて点検・評価を実施しました。

また、教育に関し学識経験を有する方から、各施策の取組に関して、ご意見をいただきました。

「第 5 次鴻巣市総合振興計画」の政策 3 「心ゆたかでときめきのあるまちづくり（教育・文化の振興）」における施策と指標の関係

今回の点検・評価に当たっては、総合振興計画の政策 3 における教育委員会各課と施設の 5 施策、16 の基本事業を基に実施しました。16 の基本事業には目的達成度を示す指標として 36 の成果指標がありますが、今回は、施策ごとの総合評価という観点で点検・評価を行ないました。

点検・評価を行った施策と、それぞれの基本事業・成果指標の関係は次のとおりです。

教育委員会が取り組んでいる5つの施策と16事業

施策名	基本事業名	基本事業の成果指標	頁
1. 学校教育の充実 主管課：学校支援課	確かな学力の向上 (学校支援課)	・学習に対する意欲の割合 ・学習テストの成果	6
	心の教育の推進 (学校支援課)	・規律ある態度の児童生徒の割合 ・不登校児童生徒の割合	7
	健康・体力の推進 (学校支援課)	・健康な生活を送っている児童生徒の割合 ・新体力テストの県平均を上回っている種目の割合(小5・中2)	8
	小・中学校施設の整備 (教育総務課)	・施設維持管理上の不具合による教育支障件数 ・小・中学校の耐震化率	9
	学校を核とした教育環境の整備 (学校支援課)	・地域とのふれあい事業参加者数 ・学校評議員に公開した教育活動数 ・学校支援ボランティア数	10
2. 生涯学習の充実 主管課：生涯学習課	生涯学習の推進体制の整備 (生涯学習課)	・生涯学習事業に対する満足度 ・文化団体加入者数 ・文化団体数	13
	公民館における学習機会の提供 (公民館)	・公民館利用者数 ・生涯学習講座参加者数	14
	図書館の利用促進 (図書館)	・貸出冊数(点数) ・図書館利用者の満足度	15
	生涯学習施設の維持・整備 (生涯学習課)	・生涯学習施設の不具合による利用支障件数 ・生涯学習活動の場・施設が充実していると思う市民の割合	16
	青少年の育成支援 (生涯学習課)	・青少年健全育成活動の参加者数 ・こども会等団体の会員数	17
3. スポーツの振興 主管課：スポーツ課	スポーツする機会の提供 (スポーツ課)	・スポーツイベント・教室参加者数 ・スポーツイベントの機会が十分だと思う市民の割合	20
	スポーツ施設の整備と有効活用 (スポーツ課)	・スポーツ施設の利用状況 ・スポーツの場・施設の充足度 ・スポーツ施設の不具合による利用支障件数	21

	指導者・団体の育成と活用 (スポーツ課)	・スポーツ指導者登録数 ・スポーツ団体登録者数 ・総合型地域スポーツクラブの設立	22
4．市民文化の創造 と交流の促進 主管課：生涯学習課	伝統文化の保護・継承 (生涯学習課)	・市内の指定文化財を知っている市民の割合 ・文化財貸出点数 ・保存・修復済指定文化財の延べ件数	24
	芸能文化の振興 (生涯学習課)	・クレアこうのす文化事業参加者数 ・公民館での芸術文化事業参加者数	25
5．人権尊重の推進 主管課：生涯学習課	学校人権教育の推進 (学校支援課)	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる児童生徒の割合	27

施 策	1 学校教育の充実
施策の対象	児童・生徒
施策の意図	豊かな心と創造性を持ち、はつらつとした学校生活を送っています。

成 果 指 標	単 位	初期値	19年度	20年度	21年度	H23めざそう値	成果状況
学校生活を楽しく送っている児童生徒の割合 (学校支援課)	%	59.6	71.2	60.2	64.6	↗	
	21年度の主な取り組み ・少人数指導加配教員の配置（全小・中学校1～2名）による習熟度別学習等の実施 ・いきいき先生（全小・中学校1～3名）日本語指導員、特別支援教育指導員の配置による個に応じた指導の実施 ・「特色ある学校づくり」事業「学校花いっぱい運動」事業による豊かな体験活動の実施 ・指導委員・研究委員による授業研究（指導形態・指導方法等の実践研究） ・市教委等の委嘱による学校課題研究（2年間） ・学校支援課・南部教育事務所合同訪問による各校の教育課程及び教育指導への指導・助言						
【成果指標】 目標達成度を示す指標です	成果状況/達成度評価 昨年度より上昇し、（小学校＝73.9％・中学校＝55.3％）となり目標値に近づきました。特に小学校は大幅に上回っています。（小学校昨年度64.4％） しかし、調査対象校（研究委嘱発表校）が毎年変わるため、的確な判断ができない面があると考えます。 今後も、学校・家庭・地域の一層の連携を図り、目標値達成を目指してまいります。						

教育委員会の自己評価

<p>1 「学力」について、達成度は小学校約95％、中学校約88％と高い数値を示し、県平均を上回っている。個に応じたきめ細やかな指導や教育環境の整備等の取組の成果といえる。今後も、教員の資質向上を図るとともに、「いきいき先生」等、市独自の人的配置を強化し、児童・生徒の確かな学力の育成を図りたい。</p> <p>2 「心の教育」については、教育に関する3つの達成目標「規律ある態度の育成」において、多くの項目で高い達成度となっている。各学校での規範意識の高揚を図る取組や道徳の時間を中心にした道徳教育の充実が図られている成果である。今後も、心の教育の推進や教育相談の充実により不登校の減少やいじめの根絶を図りたい。</p> <p>3 「健康・体力向上」については、各学校の養護教諭や市の体力向上推進委員会を中心に積極的に取り組み、その成果が表れている。今後も、家庭との連携を図り、基本的な生活習慣の徹底や体力の向上を図りたい。</p> <p>4 「小・中学校施設の整備」については、施設の不具合による支障が無い状態を今後も継続できるよう努力したい。また、小・中学校の耐震化については、平成25年度の100％達成に向けて、順調に推移している。</p> <p>5 「教育環境の整備」については、多くの学校で学校応援団が組織され、各種教育活動の充実が図られている。特に学習支援や登下校の安全におけるボランティアの方々の貢献は大きい。今後も、保護者や地域の方々の協力をいただき、教育活動の充実や子どもたちの安全の確保を図りたい。</p>
--

学識経験者の意見

- 1 本県の学力状況調査やアンケートに調査結果を成果指標に据え、その達成度を評価することは、現状では大変客観的で説得力のあるデータであると言える。
- 2 毎年度、違う学校でアンケート（学校生活を楽しく送っている児童生徒の割合）を採って成果指標を比べても、あまり意味がないのではないか。市内27校の同じ学年に絞ってアンケートを採る等の工夫が必要だと思われる。
- 3 『学習に対する児童の意欲の割合』の数値については、調査対象の児童生徒数及び実施時期、設問内容や方法等にも左右される場合もあり、数値も重要な評価資料ではあるが、学習意欲を削ぐと思われる様々な要素を調査・分析し、総合的な施策を通じ、「もっと勉強がしたい」意欲的な児童・生徒の底上げを図られたい。
- 4 『学習テストの結果（児童・生徒）』の達成度評価は、保護者や市民の大きな関心事の一つである。「教育に関する3つの達成目標」への総合的な取り組みも定着するとともにその年度の成果と課題が明確化され、着実にその解決が図られていると思われる。
教育委員会の指導・助言や人的措置等の戦略的支援とともに、各校の並々ならぬ努力を大いに評価したい。
- 5 いじめから不登校につながる過程において、児童の心を的確に読み取ることが肝要であり、素早い対応が望まれる。優れた知性と情熱をもって教育に励まれる先生方の多忙感を少しでも軽減する配慮と現場の声を聴くことも大いに必要と思われる。
- 6 『心の教育の推進』の成果状況を、規律ある態度の目標達成度と位置付けたことは、本市の児童・生徒の心の育ち具合の傾向を多面的に把握し、比較検討することができるという点で効果的である。ただ、ここ数年、達成度が低い項目にあまり変化がないことは様々な要因が想定されるので、家庭や地域を巻き込んだ総合的且つピンポイント対策が必要である。今後とも、数値の推移のみにとらわれることなく、課題を焦点化した根気強い取り組みが重要と思われる。
- 7 教員の資質向上と人数を増やし、一人一人の教員にゆとりを持ってもらうことが、児童・生徒に対する学力の向上・心の教育の推進に繋がり、いじめ問題や不登校に対しても減少になると思います。
- 8 児童・生徒の『健康・体力向上の推進』は、教育行政・学校・家庭・地域がスクラムを組んで取り組む重要課題の一つであり、とりわけ家庭の協力や働きかけの児童・生徒に及ぼす影響は、大変大きいものがある。平成21年度の成果状況は厳しい結果ではあるが、全国的には児童・生徒の体力は維持・向上しつつあるとの報告も聞く。今後とも家庭の理解と協力をいただき、地域の財産である児童・生徒の健康・体力づくりに尽力願いたい。
- 9 『小・中学校施設の整備』については、施設維持管理上の不具合による教育支障件数ゼロは本市の誇りである。「安全は全てに優先する」をモットーに、財源的な制約を受けながらも行う機動的な対応を高く評価したい。小・中学校の耐震化率の順調な推移は市長の理解と教育委員会の中期的・長期的な視野に立った取り組みの成果と言える。
- 10 小・中学校の耐震化率を市内の成果指標で表すだけでなく、近隣の市町村と比較できる成果指標があれば、近隣市町村に対する鴻巣市の現状が評価されると思う。
- 11 『学校を核とした教育環境の整備』については、これからの児童・生徒の教育に不可欠な課題であるが、基本事業の意図と成果指標が若干マッチしていないように感じられる。成果指標の「ふれあい事業参加者数」や「学校評議員に公開した教育活動数」が事業の意図とどう関連づけられ、どんな効果が期待されるのかという評価基準が明確になると、より説得力のある達成度評価になるのではないかと思われる。
- 12 学校応援団が整備されつつあるが、各学校がさまざまなボランティアを把握するとともに、連携できる態勢づくりが今後の課題だと思われる。

施 策	2 生涯学習の充実
------------	------------------

施策の対象	市民
--------------	----

施策の意図	知性と豊かな心を育む生涯学習に取り組んでいる市民が増えています。
--------------	----------------------------------

成 果 指 標	単 位	初 期 値	1 9 年 度	2 0 年 度	2 1 年 度	H 2 3 め ざ ぞ う 値	成 果 状 況
生涯学習に取り組んでいる市民の割合	%	42.8	42.7		40.9	↗	×
	21年度の主な取り組み 市民大学講座「こうのとリアカデミー」を開校。立教大学公開講座を併設。受講申込者199名となったため、抽選により90名とする。 生涯学習フェスティバルを開催。参加者600名。						
(生涯学習課)	成果状況/達成度評価 前回より1.8ポイント下がっていますが、統計誤差の範囲と考えられます。団塊世代の一時退職による余暇時間の増加が大いに見込まれていることにより、生涯学習事業もより多くの市民が参加できるよう工夫を凝らし、事業の見直しを図る必要があります。						
【成果指標】 目標達成度を示す指標です							

教育委員会の自己評価

<ol style="list-style-type: none"> 1 中央公民館・中央図書館を中心に各公民館・図書館が各館同士の相互利用や様々な講座の開設に取り組んで効果を挙げている。 2 生涯学習の基本は一人一人が、自らのニーズや思いに沿って、自己に適した手段・方法を選んで生涯を通じて各種の学習や活動をし、自らの生活を豊かにすることである。 生涯学習の機関は、住民の学習や活動のニーズを把握し、施設整備や学習の機会を提供することが重要であり、今後も、住民の学習や活動のニーズの把握に努めるとともに、講座参加者の終了後の組織化を図ったり、各種活動のリーダーの育成を図るなど、市民の生涯学習講座参加後の道筋を示す点などにも、努力・工夫を行っていきたい。 3 子ども会活動は、少子化の影響もあり弱体化しつつある。これは地域の活動をリードする指導者・世話役・リーダーの不足が大きな要因となっていると思われる。 今後は、育成したジュニアリーダーや地域の方々の協力を得て、子ども会活動の活性化を図っていききたい。

学識経験者の意見

- 1 市民のニーズに応えるべく、様々な取り組みを積極的に行っている姿勢は、成果状況が示す通り、しっかり評価されるべきものである。生涯学習事業に参加する年齢層が限定される傾向にあるという点は、いつの時代でもあまり変化していない感もする。
また、事業の広報活動も幅広く行われていると思われる。今後とも、限られた職員と施設・設備・人を最大限に活用して、市民のための魅力ある生涯学習事業を真摯に推進して欲しい。
- 2 『公民館における学習機会の充実』については、子どもから高齢者までの幅広い人々を対象に、創意工夫のある様々な学習機会が提供されている。成果指標にもあるとおり、利用者数や参加者数という数値結果から評価すると、成果状況は×ではあるが、市民のニーズの多様化、財政面、施設・設備面、高齢化等の課題山積の中で、多くの市民が生きがいを感じながら、公民館を楽しく利用していることも事実である。
- 3 年間行事としての各公民館の文化祭（フェスティバル）は、地域の人々にとって意義ある行事である。文化団体に加入していない人にとっては、団体や個人も気安く参加でき、楽しんでおり、今後も今までの実績に加えて学習の多様化と公民館独自の企画が進められることを期待する。「公民館利用者の集い」等も一案かと思う。
- 4 『図書館の利用促進』については、時代の要請、市民の要請に迅速に対応し、多くの人々に利用しやすい図書館づくりを目指す熱意が、様々な取り組みをとおして感じらる。
成果指標にある満足度のみで成果状況を評価することは、やや無理があると思われるが、中央図書館の駅前移転を機に、満足できる図書館の要素とは何かを分析し、ハード面とソフト面の両面から計画的にアプローチしていただきたい。

施 策	3 スポーツの振興
------------	------------------

施策の対象	市民
--------------	----

施策の意図	自分に合ったスポーツを見つけ、スポーツに親しむ市民が増えています。
--------------	-----------------------------------

成 果 指 標	単 位	初 期 値	1 9 年 度	2 0 年 度	2 1 年 度	H 2 3 め ざ ぞ う 値	成 果 状 況
週1回以上スポーツをする 18歳以上の市民の割合 (スポーツ課) 【成果指標】 目標達成度を示す指標です	%	26.3	26.7		28.6	↗	
	21年度の主な取り組み						
	多くの市民を対象にスポーツ教室(11教室)、市民大会(24大会)を開催し、スポーツに親しむ機会を設けました。また、出前講座 体力テスト ニュースポーツの体験として、計8回さまざまな施設に出向いて実技指導を実施いたしました。						
成果状況/達成度評価							
市民アンケートの結果、前回より1.9%上昇しておりますが、競技スポーツや団体スポーツへの参加者は固定化されているため、新しくスポーツを始める人を増やす環境・機会の提供をさらに推進する必要があります。(ニュースポーツの普及、新規スポーツ教室の開催)							

教育委員会の自己評価

<p>1 体育協会・レクリエーション協会・スポーツ少年団等と連携し、各種スポーツ等の機会の提供や、競技力の向上に努めており、成果指標は全体的に概ね順調に推移していると思われる。 しかしながら、スポーツ・運動に親しむ人の固定化が見られ、「誰もがスポーツに親しむ」という課題には今後においても研究が必要と思われる。 特に高齢者・障害者等にスポーツ・レクリエーションに親しむ機会を提供するという課題を重点項目としていきたい。 また、市民体育祭等のイベントの持ち方や、地域・自治会単位の簡易スポーツ、運動教室等の開催も検討していく必要があると思われる。</p> <p>2 公共スポーツ施設等案内・予約システムを導入し、市民が空き状況を検索でき、予約ができる環境整備が整ったため、スポーツ施設の利便性向上に大きく役立っている。 また、厳しい財政事情の中、総合体育館トレーニングルームのカーペット張替と吹上富士見テニスコートの整備を行うなど、市域に散在する施設の充実・整備を計画的に行っており、概ね順調に推移している。 今後も市民ニーズへの対応を図りながら、利用しやすい環境整備に努めていきたい。</p>

学識経験者の意見

- 1 『スポーツする機会の提供』について、パンジーマラソンを始めとする行政主催のスポーツイベントは、本市の活性化にも大きく寄与している。参加者数の増加や満足している市民の割合がアップしていることから、成果の状況が評価できる。
今後とも、事故等がないよう十分配慮していただきたい。
- 2 スポーツイベント・教室等への参加者数の増加やスポーツイベントの機会が十分だと思える市民の成果指数が増えている事は大いに評価できる。スポーツ・運動に親しむ人の固定化がみられる中、幼児や高齢者でも親しめる工夫や研究が大切であり、幼児期からスポーツを間近で経験すること、高齢者でもスポーツ・運動をすることにより、病気などの減少にも繋がることが期待される。
- 3 『スポーツ施設の整備と有効活用』について、公共施設案内・予約システムの導入は、現在の情報化社会の流れや市民の要請等を考慮すると、大変タイムリーな取り組みであると考えられる。運用上の課題もあると思われるが、一つ一つ検討し、多くの市民に有効活用していただくことを期待する。
- 4 多くの人々が自ら健康の維持・増進に関心を持ち、主体的にスポーツをする社会になってきている。限られた施設・設備、老朽化等の課題も多いと思われるが、このような状況のなか、教育委員会の整備・改修に対する迅速な対応は十分評価できる。
- 5 スポーツの場・施設の充実度については、近隣市町村と比較をし、充実度を評価する事が大事ではないかと考える。スポーツ施設の利用状況は「公共施設案内・予約システム」の運用等により前年度より増加している事は評価できる。
スポーツ施設の不具合による利用支障件数が無い事も評価でき、今後も、点検・維持管理等、徹底していただきたい。
- 6 指導者・団体の育成と活用について、少子化や市民のニーズが多様化するなかで、人数だけで成果状況を見ていく事には難があると思われる。スポーツ指導者は基本的なベースの人数をクリアしていることが大切なのではないかと考える。

施 策	4 市民文化の創造と交流の促進
------------	------------------------

施策の対象	市民・文化団体・伝統芸能・文化財・在住外国人
--------------	------------------------

施策の意図	伝統文化、芸術文化、国際交流など多様な文化に触れ合う機会が増え、市民が心豊かな生活を送っています。
--------------	---

成 果 指 標	単 位	初 期 値	1 9 年 度	2 0 年 度	2 1 年 度	H 2 3 め ざ ぞ う 値	成 果 状 況
多様な文化に触れて、心豊かな生活を送っていると感じている市民の割合 (生涯学習課) 【成果指標】 目標達成度を示す指標です	%	24.5	21.3		22.1	↗	×
	21年度の主な取り組み 夏休み子ども移動歴史教室を開催し、約40人が参加しました。さらに春休み期間中には学童保育室に通っている子ども達を対象にクレア鴻巣で埴輪の説明をするなど、子ども達が文化に触れる機会を設けました。 その他には文化財の保存・修復、郷土芸能保存団体への支援により、文化財の保護や後継者の育成を図りました。						
	成果状況/達成度評価 0.8ポイント高くなっていますが、大きな変化はないと思われます。引き続き、ゆとりを持ち、心豊かな生活を目指していただくよう啓発をしていきたいと考えています。						

教育委員会の自己評価

<ol style="list-style-type: none"> 各基本事業の成果は概ね順調に推移しており、継続した事業展開を図っていきたい。文化財は地域にとって、歴史や文化の理解に欠くことができない貴重な資産であるとともに、現在及び将来の社会の発展向上のために無くてはならないものである。そのため、文化財を適切に保存・活用し、確実に次世代に継承していくよう努めていきたい。 郷土芸能保存団体の一部に補助金を出しているが、郷土芸能に携わる人々の高齢化及び人数の減少といった問題が考えられるので、そういった問題への対策を考えていきたい。

学識経験者の意見

<ol style="list-style-type: none"> 各地に歴史サークルがあり、古文書の会も活動し、歴女、仏女などの言葉が生まれるほど、歴史や地域文化への憧憬と楽しみ方の多様化が見られる時代になった。このことは、ゆとりある日常と心豊かな生活にも結びついている。これからも埴輪、人形、郷土の人物や自然など、本市の特色を学びながら健康な文化都市を創り上げる努力が望まれる。 市の施策を大いに評価している。

施 策	5 人権尊重の推進
施策の対象	市民
施策の意図	お互いの人権を尊重しあい共に生きる社会が形成されています。

成 果 指 標	単 位	初期値	19年度	20年度	21年度	H23めざそう値	成果状況
人権が尊重されている社会 であると思う市民の割合 (生涯学習課)	%	46.9	47.2		53.1	↗	
	21年度の主な取り組み						
	3つある集会所の利用者や、商工会、社会福祉協議会などの職員を対象とした人権教育指導者養成講座や老人クラブ連合会を対象とした人権啓発研修会、吹上ふれあいセンター利用者リーダー研修会などの人権啓発研修会を開催し、市民の人権意識の高揚を図りました。また、3つの集会所で人権教育推進の一環として、各種講座を企画し、開講式、閉講式には人権講話や人権啓発ビデオの視聴を行い、様々な人権問題に対する認識の向上を図りました。更には、3集会所合同で、「ふれあいの旅」を実施し、車中において人権講話や人権啓発ビデオの視聴を行い、人権問題に対する理解、認識の向上と共に、お互いのふれあいを通して人権感覚の高揚を図りました。						
【成果指標】 目標達成度を示す指標です	成果状況/達成度評価						
	アンケート結果では、前回の調査に比べ、人権が尊重されている社会であると思う市民の割合が、5.9%増えました。人権が尊重されている社会では無いと思う市民の割合が5%減少しており、引き続き現状での啓発を継続して進めてまいります。						

教育委員会の自己評価

<p>1 成果指標値は微増ではあるが50%を超え、概ね順調に推移している。 人権問題はすべての人の日常的かつ身近な問題である。近年、自己の考えや利益を主張するばかりで、他人の人権を顧みない風潮や、経済的な繁栄や効率を優先するあまり、人権が侵害されるなどの現実が目立っている。 今、自分の権利と同様に他人の人権を尊重する人権感覚を養うことが求められている。人権教育、人権啓発は、家庭、学校、地域社会、職域など、あらゆる場と機会を通して実施することで効果を上げるもので、「人権が尊重されている社会であると思う市民」の割合が着実に増えるよう引き続き努力をしていきたい。</p>

学識経験者の意見

<p>1 箕田公民館での22年オータムフェアの会場で21年度「人輝く言葉」の冊子、人権文集おおとり(第28集)をいただき、教育長の発刊のことばどおりの生徒たちの鏡のような言葉の数々を読み、大人の私が恥ずかしい気持ちになりました。 今更のように純な心の尊さを思い知ることとなりました。</p> <p>2 様々な努力により成果状況が年々上昇して、県平均を上回っている。心にゆとりがないと、なかなか他人への気配りができないと思うが、今後の課題として、相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる児童生徒の割合を増やす為には、教員と児童生徒に時間的なゆとりを持つ事が必要になって来るのではないかとされる。</p>
--

結びに

今回で3度目となる「教育委員会の事務に関する点検・評価」については、冒頭で述べたように地教行法の改正により平成20年度より実施しているもので、今後とも検討を加え、より時代に合った適切なものにしていく必要があります。特に、成果指標や目標値については、定期的な見直しや改善が必要となってくるものと思われます。

しかし、教育への取り組みは、事業の実施や予算の投入が直ちに結果となって表れるものばかりではありません。その成果を具体的に数値化することが難しい上に、時間がかかる取り組みも数多くあります。

教育委員会といたしましては、今後とも実証的に成果を検証する観点から、この点検・評価の結果及び学識経験を有する方よりいただいたご意見を生かし、課題の解決に向けた効果的な教育行政の推進に努めてまいります。

なお、本報告書につきましては、3月定例議会に提出するとともに、教育総務課のホームページにて公表いたします。

今回の教育委員会の事務の点検・評価に当たっては、その客観性を確保するため、次の学識経験者の方々に、ご意見をいただきました。

やま ぐち また いち
山口 又一 鴻巣市文化団体連合会会長

かみ おか まもる
上岡 守 前鴻巣市小・中学校長会長

いけ さわ たかし
池澤 貴 鴻巣市PTA連合会長

(敬称略)



花^{かおり} 緑^{あふれ} 人^{ほくら} こうのす